

日赤なごや

Vol. 20
2008. July

CONTENTS

- ◆ 初診外来予約制を始めます
- ◆ 検査部門の紹介
- ◆ 患者相談室のご案内
- ◆ お薬の知識⑨
～血圧を下げるお薬(1)～



ANAしあわせのスズラン慰問♪



+ 地域医療支援病院
名古屋第一赤十字病院

理念〈私たちの誓い〉

- 私たちは医療の倫理を守り、赤十字の人道博愛精神のもとに、皆さまと共に医の道の理想を追究いたします。
- 皆さまとの出会いを一期のごこと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。
 - 皆さまとの厚い信頼に立って、お互いに心を開き、明るく優しい環境のもと、日々を清澄な心で奉仕します。

基本方針

1. 患者さま本位の医療と安心できる癒しの場を作ります。
2. 高度で良質な医療をします。
3. 救急医療を充実します。
4. 病診連携を推進し、一貫したきめ細かい医療を行います。
5. 医療関係者の教育・研修を推進し、治療・看護・介護・福祉を実践します。
6. 災害救護と国際救援活動を積極的に行います。
7. 健全経営を維持し、この基本方針を達成いたします。



初診外来予約制を始めます

「医療崩壊」という言葉をお聞きになったことがありませんか？日本の医療制度は、今のままでは今後おとされる少子高齢化時代に対応できません。患者数は増加します。医療技術の進歩は著しく、機器はどんどん高額になっています。よく効く新薬も開発され、1ヶ月の薬の費用が何十万のものも珍しくなくなっています。ーT化（カルテの電子化）にも多額の費用が必要です。一方、国の財政は赤字国債の乱発により危機的状況にあります。地方はさらに深刻な状況です。そのため、医療費の抑制策がとられました。しわ寄せが病院の人件費にきて、十分な人員の確保を困難にしています。

また、マスクにあらわれた面もあり、医療不信が高じて医療訴訟が増加しています。時には刑事罰に問われることもあります。医療安全の観点から、説明責任にも厳しさが求められています。医師が処理すべき書類の数も増加の途です。

救急医療を実践するには24時間体制をひく必要があります。当院では毎日、時間外夜間に13人以上の医師が勤務しています。一人は夜勤勤務ですが、他は当直で翌日も仕事をしています。すべて夜勤体制にするには医師の数が不足しています。最近ではマスクにも取り上げ、厚労省もやっとな対策に乗り出したようですが、産科、小児科の医師が不足しています。実は医師、特に病院医師、他にも麻酔科、放射線科、精神科、外科、呼吸器科、消化器科などでも不足していて、むしろ充足している科の方が少ないのが現状です。

当院では1日1800人の外来患者さんの診療をしております。本来、病院職員は多くの患者さんに信



頼られ、受診していただくことを喜びとすべきで、本末転倒と思いますが、厚労省は外来診療が病院医師の過重労働の二因と考えて初期の診療は地域の医院、診療所で受けるよう誘導しています。当院でも一部の科で

は外来患者さんを診療時間内に診ることが困難になっています。平成21年に今建築中の新病院で診療を始めますが、同時に電子カルテの導入を予定しています。操作に慣れるまで、特に外来で診察できる患者さんの数を制限させていただく予定です。

当院のような急性期の患者さんを診療すべき病院長は、紹介状をお持ちにならずに初診を受けられる方から保険外の費用（当院は3150円）をいただいています。しかし、この制度は十分知られていないので、病院の外来患者さんを減らすという効果は出ていません。

この度、当院を受診（初診）される方に是非紹介状をお持ちになって受診していただくために、予約制を始めます。ご予約のない方、特に紹介状もない方は、後日の診察になることもあります。また、予約制導入にあたり何かと迷惑、不都合をおかけすることもあると思いますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

検査部門の紹介

検査部は医師二名、臨床検査技師四十三名、事務職二名、委託事務員五名の大所帯です。組織として三課（臨床検査第一課、臨床検査第二課、生理検査課）に分かれており、それぞれの課に免疫血清係、血液検査係、生化学検査係、一般検査係、緊急検査係、細菌検査係、第一生理検査係、第二生理検査係、超音波検査係の九つの係りがあります。医師の部長職を筆頭に技師長、課長、係長の役職が置かれており、十四名の役職者が役目を担っています。

臨床検査技師の業務には、血液や分泌物、排泄物等の分析検査や形態学的検査、また、人体に直接関わって行う検査として生理学的検査や画像検査等があります。その他として採血業務も臨床検査技師の重要な業務になっています。採血業務は臨床検査の精度管理における初段階の基本操作です。検査部に勤務する技師は臨床検査技師国家資格を保有することが条件ですが、それに加え臨床工学技士国家資格保有者や各種学会団体・技師会が定めた認定取得技師が十四名います。認定の種類は認定血液検査技師、認定緊急検査技師、認定心電検査技師、循環器リハビリ指導士、超音波検査士、糖尿病療養指導士です。検査技師の認定制度はその他にも各種あります。私達は患者さんに望まれる検査の技術向上を目指して頑張っています。



検査部では精度の高い検査データや情報を迅速・確実に提供して信頼の医療を支えています

患者相談室のご案内



当院では、平成19年4月から患者サービスの一環として、各種の医療相談・退院相談や在宅支援など患者さんおよびご家族からの不安や疑問等に応じるため「患者相談室」を開設いたしました。

開設以来、電話による相談件数、来室の患者さんおよびご家族の方々からの相談件数ともに漸次増えてまいりました。また、平成20年2月に「地域がん診療連携拠点病院」の指定をいただいておりますが、「がん相談支援センター」として、がん患者さんやご家族、地域の方々の「がん」に関する疑問や不安、悩みについての相談をお受けする窓口としての役割も担うことになりました。

ケア病棟つてどんなところ？』等々どのようなことでもお気軽にご相談ください。

相談は無料です。ご予約の必要もございません。専任の相談員（看護師）がお話をお聴きして、一緒に考え、相談者が前向きに行動できるよう、相談内容によっては医師や薬剤師、認定看護師等と連携をとって親身に対応させていただきます。

相談員のモットーは、患者さんとそのご家族が、納得のいく良質の医療を受けていただけるよう支援することです。

今後は、患者さんや地域の皆さまが安心して治療に専念でき、療養生活を送っていただけるよう「がん」に関する冊子の提供や書籍の紹介、セミナーや講演会の開催のお知らせ等、情報の発信にも努めてまいります。

『がん』という言葉は、家族はどうすればいいの』『早急に手術をと勧められたが、別の病院の先生の意見も聞いてから決めたいが…』『緩和

患者相談室・がん相談支援センターのご案内

相談対応日

月曜日～金曜日（休診日を除く）

対応時間

8:50～17:30

場所

名古屋第一赤十字病院 患者相談室（正面玄関の東側）

電話番号

052-485-3503（直通）

FAX番号

052-485-3504（直通）

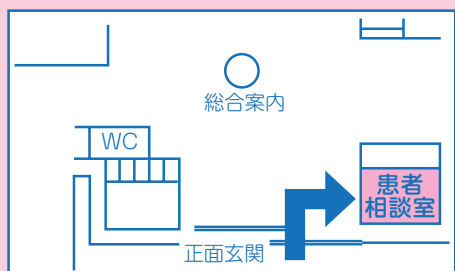
相談方法

電話・FAXによる相談、「患者相談室」での面接相談

相談内容

- 各種医療相談、看護相談
- セカンドオピニオンに関すること
- 緩和ケアに関すること
- 日常生活や在宅療養に関すること
- 地域の病院や診療所に関する情報（かかりつけ医）の紹介
- 医療費や福祉サービスに関すること
- その他、不安なことや困っていること

※ 相談者のプライバシーは厳守いたします。



正しい薬の飲み方

お薬の知識⑨

～血圧を下げるお薬①～



血圧の高い状態が長く続く、つまり、高血圧は、脳卒中、心筋梗塞、腎不全など命に関わる問題が生じることがあります。食事、飲酒、運動、禁煙といった生活習慣の改善は、非常に重要となりますが、高血圧における危険因子が多い患者さんは、これに併せて、薬物療法が必要になります。

ヒトの血圧を下げる仕組みとして一般的に、血管を弛緩させる、または収縮を抑える、あるいは、血管を通る血液の余分な水分を減らす、心臓から出る血液の勢いを和らげるなどがあります。

現在使用されている血圧を下げるお薬は、大変多くの種類がありますが分類すると、およそ前述の仕組みで分類できます。すなわち、血管を弛緩、または収縮を抑える作用を持つお薬としては、交感神経抑制剤、カルシウム拮抗剤、アンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害剤、アンジオテンシンⅡ（AⅡ）受容体拮抗剤などがあります。また血管を通る血液の余分な水分を減らす作用を持つお薬としては、降圧利尿剤があります。さらに心臓から出る血液の勢いを和らげる作用を持つお薬としては、交感神経抑制剤などがあります。実際の治療においては、それぞれの患者さんの状態にあわせて、少量からはじめます。そして反応をみながら増量していきますが、1種類のみで増量することは少なく、何種類かの降圧剤を組み合わせてやるのが一般的です。

血圧を下げるお薬を飲まれている方は、どの種類のお薬か、一度、確認してみても、いかがでしょうか。

外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。

2008年7月1日現在

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|------|-----|------------|------------|--------------|------------|------------|
| 内科 | 血液 | 小澤 | 宮村 | 宮村 | 小澤 | 榛葉 |
| | | PM今橋 | PM塚本 | PM榛葉 PM西脇 | PM瀬戸 | PM渡邊 |
| | 内分泌 | 村瀬 (山内) | 足立 (山守) | 山守 | 村瀬 (山守) | 山内 (村瀬) |
| | | 腎臓 | 青山 | 市田 | — | 堀 |
| | 神経 | 加藤 | 真野 | 後藤 | 真野 | 後藤 |
| | | 若山 | 若山 | 加藤 | 中村 | 櫻井 |
| | 循環器 | 神谷 | 花木 | 大野 | 大野 | 柴田 |
| | | (交代) | 三浦 | 神谷 | 柴田 | 片岡 |
| | | 三浦 | — | 小栗 | — | PM山村 |
| | | PM永廣 | — | — | — | — |
| 呼吸器 | 新患 | 酒井 | 横山 | 伊藤 | 野村 | 田中 |
| | 再診 | 野村 | 田中 | 横山 | 酒井 | 野村 |
| 消化器 | 伊東 | 春田 | 伊東 | 山口 | 春田 | |
| | 山田 | 山口 | 鷲見 | 山田 | 鷲見 | |
| | 松下 | 佐々木 | 平山 | 佐々木 PM松下 | 平山 | |

※初診時に予診(医師による問診)を行った後、各専門外来を受診していただきます。

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | | |
|------|---------|---------|-------|------|--------|----|----|
| 小児科 | 午前 | 羽田野 | 加藤 | 松本 | 羽田野 | 河井 | |
| | | 鈴木 | 糸見 | 生駒 | 鬼頭 | 近藤 | |
| | | 岸 | 永田 | 安田 | 羽田野(さ) | 吉田 | |
| | 循環器 | 兵藤 | 横塚 | 坂口 | 月舘 | 孫田 | |
| | | 羽田野 | — | — | — | — | |
| | 午後 | 血液 | — | 加藤 | — | 松本 | 加藤 |
| | | 神経 | — | — | 近藤 | 糸見 | 夏目 |
| | 後(専門外来) | 腎臓 | — | 月舘 | — | — | 月舘 |
| | | 新生児発達 | 鬼頭 | — | — | — | — |
| | | フォローアップ | 横塚/孫田 | 鈴木 | — | 安田 | — |
| 予防接種 | | — | (交代) | — | — | — | |
| 乳児健診 | | — | — | (交代) | — | — | |

※予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----------|------|------|---------|------|------------|
| 一般消化器外科 | 宮田 | 竹内 | 小林(陽) | 長澤 | 宮田 |
| | 三宅 | 大森 | 湯浅 | PM竹内 | 三宅 |
| | 村田 | — | 田畑 | — | 雄谷 |
| 乳腺・内分泌外科 | — | — | PM小林(俊) | — | — |
| | — | PM後藤 | 後藤 | 後藤 | — |
| 心臓外科 | 山名 | 伊藤 | 阿部 | — | 河村 PM中山 |
| 血管外科 | — | 錦見 | — | 永田 | — |
| 呼吸器外科 | PM石黒 | PM森 | — | — | 森 |
| 小児外科 | 津田 | — | — | 津田 | — |

| 形成外科 | 午後 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|----|----|---|---|---|---|
| 林/菱田 | — | 菱田 | — | — | — | 林 |

※月・水・金曜日 13時から診療開始いたします。

| 整形外科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|----|----|----|----|---|
| 大澤 | 堀井 | 井上 | 堀井 | 大澤 | — |
| 井上 | 藁科 | 青木 | 藁科 | 青木 | — |
| 服部 | 松下 | 松下 | 服部 | 広石 | — |
| 松本 | 米田 | 松本 | 広石 | 米田 | — |

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|----|------|----|------|----|
| 脳神経外科 | 稲尾 | (交代) | 稲尾 | (交代) | 池田 |
| | 長坂 | — | 告野 | — | 岡本 |

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|------|----|----|----|----|----|----|
| 皮膚科 | 新患 | 北村 | 田中 | 有本 | 太田 | 松本 |
| | 再診 | 太田 | 北村 | 太田 | 北村 | 太田 |
| | | — | 太田 | 北村 | — | 北村 |

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------|--|----|-------|-------|----|
| 泌尿器科 | 加藤 | 村瀬 | 山本 | 鈴木(弘) | 村瀬 |
| | 吉田 | 山本 | 鈴木(弘) | 加藤 | 古橋 |
| | — | — | PM加藤 | — | — |
| 女性泌尿器外来 | — | 加藤 | 鈴木(省) | — | — |
| | ※新患は(水)もしくは(木)にご来院ください。 ※鈴木(省)先生の診察は産婦人科外来にて行います。 | | | | |

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|------|-----------|--------|----|-----------|------|---------|
| 産婦人科 | 新患 | 石川 | 石川 | 石川 | 石川 | 石川 |
| | 再診 | 堀 | 水野 | — | 水野 | 南/廣村 |
| | 生殖内分泌・内視鏡 | 安藤 | 安藤 | — | PM高橋 | 安藤 |
| | 妊婦診 | 廣川(交代) | 古橋 | 南(二)/(交代) | 吉田 | PM左高/新保 |
| | 助産師外来 | — | — | 助産師 | — | 助産師 |

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|------|----|----|----|----|-------|------|
| 眼科 | 新患 | 佐藤 | 山腰 | 佐藤 | 片岡 | (交代) |
| | 再診 | 杉田 | — | 山腰 | — | 佐藤 |
| | | 山腰 | — | 片岡 | — | 山腰 |
| | — | — | — | — | 片岡/久野 | |

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|-------|----|----|----|----|----|----|
| 耳鼻咽喉科 | 新患 | 鈴木 | 内木 | 植田 | 西川 | 古橋 |
| | 再診 | 植田 | 鈴木 | 内木 | 植田 | 内木 |
| | 古橋 | 西川 | 鈴木 | 古橋 | 西川 | |

| リハビリテーション | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------|----|----|-------|----|---|
| 青木/堀井 | 井上 | 大澤 | 大澤/井上 | 藁科 | — |

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|----|----|----|----|----|
| 放射線科 | 山田 | 山田 | 山田 | 山田 | 山田 |

※詳しくは受付にお問い合わせください。

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|------------|----|-----|-------|------|----|------|
| 歯科 口腔外科 | 新患 | 大岩 | 藤原 | (交代) | 渡邊 | (交代) |
| | 再診 | 藤原 | 大岩 | — | 大岩 | — |
| | | 渡邊 | 佐藤 | — | 藤原 | — |
| | | 佐久間 | 橋本/野田 | — | 佐藤 | — |

※口腔外科診療のみで、通常の歯科診療は行っておりません。

◎休診情報はホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

外来診療のご案内

お問い合わせ先電話 052-481-5111(代表)

- **初診** 総合案内で「診療申込票」に必要事項をご記入の上、(初めて受診される方) 保険証・紹介状・各種医療証等を添えて、新患受付にお出ください。
- **診療受付時間** 午前8時20分～午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- **診療時間** 午前8時50分～午後5時30分
- **休診日** 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- **セカンドオピニオン 専門外来** 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。患者相談室 電話 052-485-3503(直通)

人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- **健康管理センター** 電話にてお問い合わせください。(予約制です。)
- **受付時間** 月～金曜日(休診日を除く) 午前8時50分～午後5時30分 電話 052-471-3855(直通)